

地域情報誌
2015年4月
(No20)

DE すがね

〈編集・発行〉生きがいのある須金をつくる会

祝入学！須磨小に新一年生



新一年生プロフィール

お名前：三好 真央（みよしまお）ちゃん

小学校で一番やってみたいこと：お勉強

特技：鉄棒やのぼり棒

好きな食べ物：さくらんぼ・ヨーグルト

将来の夢：お花屋さん

保護者から一言：自然の中で元気いっぱい いろんな事にチャレンジしてね!!

地域の方々に、いろいろお世話になりますがどうぞ、よろしく
お願いします。



今年も、須磨小に新一年生が入学します。これで、須磨小児童は全校児童合わせて8人になります！豊かな自然と、地域の方々のあたたかい眼差しに包まれて通学する子供たち。これからも、地域全体で、子供たちの成長を見守っていきましょう！ここ、須金でしかできない教育（=郷育）が、子供たちにとってかけがえのない、一生の宝物になるはずです。

（文／DEすがね編集委員 須田 浩史）

「DEすがね」はパソコンでもご覧いただけます。以下のアドレスへアクセスしてください。

→ 周南市コミュニティ推進連絡協議会ホームページ <http://gokan-furusato.org/community/community.html>

Q 1. ご出身はどちらですか？理系ガールだったともお聞きしましたが。

A 1. 上関で育ち、柳井高校を卒業し、名古屋の大学で臨床検査技師の資格を取得しました。理系ガールです（笑）。

その後、広島にある日米共同研究機関・放射線影響研究所で、被爆者の方のDNAについて研究していましたが、平生町に光輝病院が設立されると聞き、検査室の職員として働いてみたくなり、上関の実家に戻りました。

Q 2. 須金で生活を始められた時の印象はどうでしたか？

A 2. 上関は、海峡の町なので、夜も波や船の音で賑やかなのですが、須金の夜は、カエルの鳴き声しか聞こえず、ちょっと驚きました（笑）。食事の面でも、須金の醤油の方が薄口だったり、やっぱりいろいろな違いがありました。でも、皆さん優しくしてくれ、すぐに須金の生活に慣れることが出来ましたよ。

Q 3. ご趣味は何ですか？

A 3. 中学ではクラリネット。大学ではホルンと、音楽をしていました。あまり上手ではなかったですが・・・（笑）。十数年前は、紅一点で雲海太鼓も叩いていましたよ。

今は、ファンタジー映画を3Dで鑑賞するのが大好きです。「ハリーポッター」のシリーズは全部見ました。手塚治虫のマンガも大好きで、中でも「ブッダ」は一押しです（笑）！

Q 4. 須金地区もやいネットステーションのコーディネーターとして活動され、1年を迎えられましたね。

A 4. 子供が小学生の頃、PTAをしていて、地域の皆さんには本当にお世話になりました。その時のお返しが少しでもできればと活動させてもらっています。

お一人お一人が、地域との関わりを持って暮らし続けられるように、これからも見守り活動を続けていきたいと思えます。

（インタビュー/須金公民館 周山健太郎）

人物紹介

國弘玲子さん（上市）



（市社協の山本享明さんと）

ふれあいプラザ須金、新所長に広谷宣之さんが就任！

この度、ふれあいプラザ須金の所長になりました広谷宣之です。前任の松田所長同様、よろしくお願ひします。出身は小田原で、楽々谷小学校、須金中学校を卒業しました。家庭を持つまでは小田原で過ごし、その後、周南市一の井手に住み、親が農業をしていたので農繁期には手伝いに帰っていました。

3年前に定年退職し、小田原で山林の整備、シイタケの栽培（遊び程度ですが）をしていました。そんな折、プラザの所長というお話があり、自身も以前からお世話になった須金の為になんかお役に立てることがあればと思っていたので、あまり迷わずにお引き受けしました。

プラザが設立されて9年目になるようですが、地域の皆様方の協力で順調に運営されているようです。設立目的である須金地区住民の「ふれあいの場の創出」、「生活基盤の向上」が更に向上するよう取り組んでいきたいと思えます。地域の皆様、色々な情報をお寄せ下さい。昔話をしにプラザにお越し下さい。みんなで待っています。

（4月の営業案内/金・土・日・月・祝祭日 10:00～16:00）



地区社協だより～平成26年度の実施事業～



8/14 (木) 物故者追悼式・盆踊り大会 9/7 (日) 敬老会 12/5 (金) 高齢者ふれあい忘年会

指定寄付 (香典返し等のお礼)

本年度中に、須金地区社会福祉協議会に指定寄付を頂戴しましたので、ご報告いたします。なお、紙面を借りてお礼を申し上げますとともに、故人におかれましては、ご冥福をお祈り申し上げます。

松原コタカ様 (松室) 逝去者 夫/松原一夫	岩枝直和 様 (上市) 逝去者 母/岩枝君江
舞田敏昭 様 (上市) 逝去者 母/舞田ヨシエ	磯金美津子様 (下市) 逝去者 母/原田初枝
五郎丸敏子様 (中原) 逝去者 夫/五郎丸憲夫	田村陽計 様 (上市) 一般寄付
岡成 茂 様 (中市) 逝去者 母/岡成ユキ子	神田春夫 様 (朴) 逝去者 兄/神田靖夫
廣實清子 様 (上市) 逝去者 夫/廣實源治	

明大生寄稿

「サル被害に対する取り組みについて」

明治大学農学部 新井さつき

2月8日～26日までの18日間、サル被害に対する意識調査を行い、多くの方にご協力いただきました。長期の調査ということもあり、最初は不安でしたが、皆様が温かく接して下さり、あっという間に不安がなくなりました。

今回の調査から、須金の方々がサルに対してどう感じているのかや猿害の実態を知ることが出来ました。これを基に、須金に適したサル対策を考案したいと考えています。

今回調査にご協力いただいた方々、私が一人で滞在ということもあり何かと気にかけて下さった方々、暇な大学生に付き合っ一緒に遊んでくれた子ども達、皆様本当にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。



(サル調査写真)

モンキードッグについて (市農林課より)

農林課では、サルを人里から山へ追い払う「モンキードッグ」の養成訓練をしてきました。

4か月間に及ぶ訓練の目的は、(1)人に危害を加えない、(2)飼い主の命令に従う、(3)追い払った後は戻ってくる、の3項目をイヌに習得させることです。

迎えた訓練成果測定テストでは、結果、飼い主3名・イヌ4頭が見事試験に合格しました！首輪に識別プレートを付けたモンキードッグたちが、飼い主宅の付近の人里や山で活躍する姿が思い浮かびます。(※放し飼いではありません。サルを見つけたときに、リードを放し、追い払います。)

なお、この活動は、飼い主さんにとってもイヌにとってもはじめての経験となります。できるだけ負担にならないように、まずは散歩がてらのパトロール等、飼い主さんのペースで始めてもらい、将来的に活動範囲を広げていけたらと考えています。皆さまのご理解ご協力をお願いします。



(やった！みんな合格！)

須金地区主な行事予定

(4～5月)

4月

- 4月5日（日）それーねの日
4月8日（水）小学校入学式
4月10日（金）地区歓送迎会
4月12日（日）県議会議員一般選挙
4月13日（月）コミュニティ理事会
4月14日（火）狂犬病予防集合注射および
犬の登録
- ・川本バス停10:30～10:35
 - ・須金公民館10:55～11:15
- 4月26日（日）市長及び市議会議員補欠選挙

5月

- 5月2日（土）やまびこ号
5月3日（日）農ganic Festa2015
5月10日（日）それーねの日
5月11日（月）コミュニティ総会
5月22日（金）やまびこ号

掲示板

地区歓送迎会を4月10日（金）19時より支所で開催します。
参加希望の方は、4月6日（月）までに須金公民館にご連絡ください。
会費は2,000円です。

※DE すがね無料メール配信

メールでもこの情報誌は読めます！申し込み方法はdesugane@gmail.comへ配信希望と書いたメールをするだけ。励ましや感想もこのメールアドレスで受け付けています。

須金で育て、いま全国でがんばっている皆さんの元へ届けましょう！



特別連載 須金歴史探訪

(第20回)

須金和紙

文 高橋 勝己

関が原の戦いに敗れ、防長二国に国代えされた毛利氏は、藩の財政を立て直すため、三白政策として米、塩、紙を奨励し産業振興に努めました。

萩本藩が直接管理していた山代地方（錦川上流一帯）では、造紙が盛んに行われ、毛利藩の重要な財源となっていました。徳山藩においても本藩にならい最北部の須万村（現須金地区）での造紙を奨励したのでした。

須万村は、和紙の原料となる楮（こうぞ）と三椏（みつまた）の栽培に適し、また良質の水にも恵まれていることから、和紙すきが非常に盛んに行われるようになり、徳山藩で生産する紙の三分の二を占め、藩財政の重要な柱となりました。その後、須万村の造紙は重税や重労働のため、しだいに衰退して行き、昭和26年には全く姿を消してしまいました。



写真：須金和紙センター

編集後記

須金に第4級アマチュア無線技士が新たに13名誕生しました。いざという時の防災無線として利用するのはもちろん、せっかく修得した免許なので、有意義に利用したいものです。
(高橋勝己)